

## 高校入試対策講座のご案内

2024. 8. 20 (火)

### 「入試対策学習」として何をすべきか

「入試対策学習」とは、「出た問題をすべて解けるようにする」学習をするだけです。もちろん、解けない問題の「基礎」を復習することも、入試対策学習の内に含まれます。

【重要注意】市販の「予想問題集」など使って入試対策学習をしてはいけません。

それには、山形県の出題傾向とまったく異なる問題だけしか載っていません。

志望校に合格するには、「闇夜に向かって鉄砲を撃つ」ような勉強をしないことです。

だから、「入試対策学習」を始める前に、山形県の入試にはどんな問題が出題されたのかを知っておく必要があります。

山形県公立高校入試出題問題については、数専ゼミが数学の入試問題50年分を分析した詳しいデータがあります。それを見るだけで、どんな内容の問題が、何点配点で、どの程度の難しさで出題されたかがわかります。

→Link : | [山形県公立高校入試出題問題分析 MENU](#) |

### 「高校入試対策講座」の学習内容と方法

これらの分析データをもとにして、数専ゼミの「高校入試対策講座」では、次の【1】～【3】の3種類の学習を行います。

#### 【1】過去問演習（「単元別」縦割り学習）

山形県公立高校入試に出題された過去問だけ（50年分）を使った入試対策の学習です。

##### (1) 大問4題演習

山形県公立高校入試で出題された問題のうち、配点が大きく、難しい単元（大問4題）にしぼりこんでを縦割りで演習し、全ての問題を解けるようにする学習です。

学習する大問4題は、次の内容です。

- ① 方程式・連立方程式の文章題（10点）／「解き方」はどちらか一方を選択して解く問題です。
- ② 2次関数（比例・反比例や1次関数との融合問題／8点）
- ③ 1次関数の応用問題（20点）
- ④ 合同・相似・円・三平方の定理（図形の総合問題／20点）

【注】配点は年度により若干の増減はあります。

【注】夏休み終了時の3年生では、①、③は学習できます。

学習が進んでいる学校では、②の学習もできます。

④の問題では、合同の部分のみ学習できます。

## (2) 小問学習

配点が5点以下の計算問題や確率、作図問題は、自宅学習になります。

問題と詳しい解説資料を出題年度順に遡って無料であげますので自宅で学習します。

これらの問題は、教えてもらわなくとも自分で解けるからです。

もし解説を見てもわからない問題があったら、塾へもってきて下さい。

わかるまで何度でもていねいに教えます。

過去50年分の資料がありますが、20～30年分くらい学習すると、ほとんどの問題が解けるようになります。

学習の目標は、入試では、5点以下の小問は全問正解できることです。

## (3) 「基礎」演習

上の①～④の問題を解くための「基礎」の学習をすることもできます。

希望者だけです。①～④のどの分野の基礎を学びたいかを指定してお申込下さい。

なお、過去問演習をしていて、「基礎」学習が必要であると先生が判断した場合には、過去問演習を一時中断して「基礎」学習をし、その後過去問演習に戻ります。

## 【2】過去問学習（「年度別」学習）

3年生の1月以降は、単元別の過去問学習と並行して、“入試”の練習を行います。

2024年度から年度を遡って、3月5日まで、やれる限りやります。

(数専ゼミには過去50年分の過去問がありますので、“入試”の練習は十分できます。)

84点以上が目標です。(5教科合計で420点以上が目標だからです。)

この段階では、単元別の学習はほぼ終わっているので、“入試”の練習はひとりでできます。問題と詳しい解説資料を無料であげますので自宅で学習します。

この時期には、過去問はすべて教えてもらわなくとも自分で解ける力が身についているからです。

もし解説を見てもわからない問題があったら、塾へもってきて下さい。

わかるまで何度でもていねいに教えます。

## 【3】実戦模試

学習の幅とレベルをあげておきます。

実戦模試用の問題としては、東北・関東各県の過去問を使います。

出題内容やレベルが比較的”近い”からです。

問題は塾でコピーしてあげます。やってみたい県の入試問題を請求して下さい。

## 「高校入試対策講座」の日程

日程 2024年8月より3月5日まで

受講方法：週1回コースと週2回コースと週3回コースがあります。

問題演習量の違いです。過去問を何年分学習するか、「基礎」学習をどれだけやるかの違いです。

数学に自信のない人は、より多くの時間をとって学習することをお勧めします。

時間割，授業料：通常の授業と同じです。→Link | [Juku\\_MENU](#) |

受講申込み方法：お電話でお申込下さい。→TEL：023-633-1086

## 無料体験学習

入試問題とその「基礎」の学習を体験できます。

学習してみたい内容を指定して下さい。

たとえば、「方程式の過不足算の問題」とか「1次関数の動点と面積の問題」とか「平行四辺形の証明問題」などなど…。

お電話で予約して下さい。日程と学習内容の打ち合わせをします。

## 中2生の受講

大問4題のうち、「①連立方程式」と「③1次関数」の学習ができます。

小問も、学校で学習した部分については過去問の学習ができます。

「基礎」学習を十分積んで、過去問をやると、非常によく分かるようになります。

2年生から過去問演習をやると、このようにていねいに学習を積んでいくことができます。

数学が苦手な人にお勧めの学習方法です。

## 山形県高校入試受験指導50年の歴史をもつ

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX. (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)